

1. 物質・混合物および会社情報

1.1 製品情報

製品名： パラプラスト
製品番号： 39601006;39602012;39501006

1.2 物質・混合物の用途

物質・混合物の用途： 組織包埋媒質

1.3 安全性データシートの提供者の詳細

会社名： ライカマイクロシステムズ株式会社
東京都新宿区高田馬場1-29-9 東亜DKK株式会社別館オフィスビル
電話番号： 03-6758-5620（問合せ・緊急連絡先）
FAX番号： 03-5155-4334

2. 危険有害性情報

2.1 物質・混合物の分類

CLP/GHSにおける分類(1272/2008)： 要求されていない。

EUIにおける分類(67/548/EEC)： 要求されていない。

2.2 表示要素： 要求されていない。

2.3 他の危険性： 要求されていない。

3. 組成、成分情報

3.1 物質

化学物質名	CAS番号 / EINECS番号 / REACH登録番号	重量パーセント	EU分類 (67/548/EEC)	CLP/GHS分類 (1272/2008)
危険に分類されていない				

GHS分類とEU分類については「16. その他の情報」を参照。

4. 応急措置

4.1 応急措置

目に入った場合： コンタクトレンズは外すこと。直ちに大量の水で20分以上目を洗うこと。症状が発生する場合は医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合： 接触した場合は、直ちに大量の水で20分以上皮膚を洗い、汚れた衣服や靴を脱ぐこと。再使用前には汚染された衣類を洗うこと。靴は脱いだ後よく洗うこと。症状が発生する場合は医師の診断を受けること。

吸入した場合： 吸入した場合は新鮮な空気のある場所に移動させること。呼吸をしていない場合は人工呼吸を実施すること。呼吸が困難な場合は、酸素を与えること。症状が発生する場合は医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合： 無理に吐かせてはならない。意識のない人には絶対に口から何かを与えないこと。症状が発生する場合は医師の診断を受けること。

健康への影響の詳細については「11. 有害性情報」を参照すること。

4.2 急性と遅発性の最も重要な症状と作用

- 目に入った場合： 軽度の目の炎症を起こす場合がある。
- 皮膚に付着した場合： 溶融した製品の付着により熱傷を起こす場合がある。
- 吸入した場合： 呼吸器の炎症を起こす場合がある。
- 飲み込んだ場合： 顕著な作用も重篤なハザードも知られていない。

4.3 応急処置および特別な治療

通常、応急処置は必要ではない。
特別な治療は不要である。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤：

適する消火剤： 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、又は水噴霧

適さない消火剤： 可燃性には分類されないが、火災の条件下で燃焼する製品

5.2 物質・混合物による特有の危険性

異常火災・爆発の危険： 可燃性物質に分類されないが、製品は火災の条件下で燃焼する。

燃焼時の生成物： 一酸化炭素、二酸化炭素、蠟の煙および煙。

5.3 消火作業への注意事項

消火作業のための特別な防護器具： 化学物質を含む大規模な火災を消火する際には、自給式呼吸器と保護衣を着用すること。

消火作業のための特別な防護活動： 地域の緊急計画に従い、火災現場からの避難または隔離の必要性を決定すること。火気に曝された容器を冷やすために水噴霧を使うこと。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具および緊急時の措置

適切な保護具を着用すること。溶融物との接触を避けること。

6.2 環境に対する注意事項

排水管や水路への流入を防止すること。地域や国の規制に従って流出を報告すること。

6.3 封じ込めおよび処分のための方法・機材

環境温度では、材料を拾い、処分のために容器に入れる。溶融した場合は、凝固して冷やす。拾い上げるか、こすって容器に入れて処分すること。

6.4 参照

個人用保護具については「8. 暴露防止および保護措置」、処分については「13. 廃棄上の注意」を参照。

7. 取扱いおよび保管

7.1 安全に取扱うための注意事項

溶融した製品との接触を避けること。加熱された物質から出る煙霧を吸入しないこと。適切な換気をしているところで使用すること。

7.2 任意の配合禁忌を含む安全な保管条件

物理的損傷から容器を保護する。涼しい場所に保管する。使用しないときは容器を密閉しておく。

容器が空でも製品が残留している。空容器に接触したところもしくは近くでの切断、溶接、ろう付け等の行為をしないこと。空容器の取扱いに際しては、この安全性シートのすべての注意事項に従うこと。

7.3 特定の最終用途

工業用途： 特定されていない

研究用途： 組織包埋 / 浸透媒質

8. 暴露防止および保護措置

8.1 防止基準

職業ばく露限界：

化学物質名	アメリカ 職業ばく露限界	EU 職業ばく露限界	イギリス 職業ばく露限界	ドイツ 職業ばく露限界
パラフィンワックス (煙)	2 mg/m ³ TWA ACGIH TLV	設定なし	2 mg/m ³ TWA 6 mg/m ³ STEL	設定なし

TWA：時間加重平均、ACGIH：米国産業衛生専門家会議、TLV：許容濃度、STEL：短時間暴露限界

上記にない暴露限界は各国・地域の機関に問い合わせること。

8.2 暴露防止

推奨される測定方法： ガスクロマトグラフィーによる分析で炭管への回収。

適切な技術的管理： 職場暴露限界以下の暴露レベルを維持するために十分な局所排気装置を使用すること。

個人用保護対策

目・顔の保護： 保護眼鏡を着用すること。

皮膚の保護： 皮膚接触を防ぐため、必要に応じて不浸透性の服を着用すること。

手の保護： 不浸透性の手袋が推奨される（ブチルラバー）。

呼吸器の保護： 身体に合った、認可を受けた基準に適合する粒子フィルター呼吸器がリスク評価では必要である。呼吸器の選択は、既知の又は予測される暴露レベル、製品のハザード及び選択された呼吸器の安全作業限界に基かなければならない。

その他の保護具： 適切な洗浄施設が利用可能であるべきである。

9. 物理的および化学的性質

9.1 物理的および化学的性質の基本的な情報

外観： 白色個体

臭気： パラフィン

嗅覚閾値： 設定なし

pH： 適用しない

融点／凝固点： 56°C (132°F)

沸点： 適用しない

引火点： 適用しない

燃焼範囲 下限値： 適用しない

燃焼範囲 上限値： 適用しない

蒸発率： 適用しない

蒸気密度（空気=1）： 適用しない

蒸気圧： 適用しない

比重（H₂O=1）： ~0.8

相対密度： ~0.8

溶解度：	非溶解性
分配係数 オクタノール/水：	適用しない
自然発火温度：	適用しない
分解温度：	適用しない
粘度：	適用しない
爆発性：	爆発性でない
酸化特性：	なし
分子式：	適用しない
分子量：	適用しない

9.2 その他の情報

追加情報はない

10. 安定性および反応性

10.1 反応性：通常条件下では反応しない。

10.2 化学的安定性：通常条件下では安定。

10.3 危険な反応の可能性：酸化剤との反応により、熱が発生し、火災の原因となることがある。

10.4 回避すべき条件：過剰な熱。

10.5 禁忌物質：酸化剤。

10.6 有害な分解生成物：火災時もしくは非常な高温条件下における熱分解によって、炭素の酸化物、蠟の有害な煙及び煙が生成する可能性がある。

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

潜在的な健康への影響：

目に入った場合：接触すると軽度の一過性の炎症が起こることがある。蠟の煙は赤みや痛みを伴う炎症を引き起こすことがある。溶融した製品に触れると熱傷が生じることがある。

皮膚に付着した場合：溶融した製品に触れると熱傷が生じることがある。

吸入した場合：煙霧を吸入すると、眼、鼻、および上気道の刺激を引き起こすことがある。症状には、咳、くしゃみ、喉の痛みなどがある。

飲み込んだ場合：少量であれば副作用を引き起こすことは予想されない。大量に飲み込んだ場合、腸が閉塞することがある。

急性毒性：データなし。

皮膚腐食性/刺激性：データなし。

目の損傷/刺激性：データなし。

呼吸器系への刺激：データなし。

呼吸器感作性：データなし。

皮膚感作性：データなし。

生殖細胞変異原性：データなし。

安全性データシート

パラプラスチック

ページ 5

発行日：2015年8月25日

改訂番号：G

発がん性： データなし。

生殖毒性： データなし。

特定標的臓器毒性：

単回暴露： データなし。

反復暴露： データなし。

12. 環境影響情報

12.1 毒性 混合物のデータなし。水生生物に有害であるとは考えられていない。

製品/成分名	結果	生物種	ばく露
毒性であるとは考えられない	-	-	-

12.2 残留性・分解性 データなし。

12.3 生物蓄積性 データなし。

12.4 土壌への移動性 データなし。

12.5 難分解性・生体蓄積性・有毒性／極難分解性および猛毒性評価結果：データなし

12.6 その他の有害影響 データなし

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法： 廃棄物の生成は避けられるべきであり、又は可能な限り最小化されるべきである。この製品、溶液及び副産物は常に環境保護の要求事項や廃棄物の廃棄の法規制や地域や国の規制に従うべきである。余剰及びリサイクルできない製品の廃棄は許可を受けた廃棄業者によること。廃棄物は、管轄の全ての規制当局の要求事項を全て満たさない限り、未処理で下水に廃棄するべきではない。廃棄物の包装はリサイクルされるべきである。焼却又は埋め立てはリサイクルが実行可能でない場合にのみ考慮されるべきである。この物質とその容器は安全な方法で廃棄されなければならない。洗浄又はすすがれていない空容器を扱う場合は注意が払われなければならない。空容器又はライナーに製品の残渣がある場合がある。こぼれた製品の飛散及び流出や、土壌、水路、排水設備及び下水との接触を防ぐこと。

14. 輸送情報

	14.1 国連番号	14.2 国連輸送品目正式名	14.3 危険性等級	14.4 包装分類	14.5 環境危険性
US DOT	規制されない	-	-	-	-
Canada TDG	規制されない	-	-	-	-
EU ADR/RID	規制されない	-	-	-	-

安全性データシート

パラプラス

ページ 6

発行日：2015年8月25日

改訂番号：G

IMDG	規制されない	-	-	-	-
IATA/ICAO	規制されない	-	-	-	-

US DOT：アメリカ運輸省 Canada TDG：カナダ危険物輸送規則

EU ADR/RID：EU危険物の国際道路輸送に関する欧州協定/鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

IMDG：国際海上危険物規約 IATA/ICAO：国際航空輸送協会/国際民間航空機関

14.6 特別な注意事項：なし

14.7 添付文書Ⅲ MARPOL 73/78 と IBCコードによるバルク輸：規定されていない

15. 規制情報

15.1 本物質や混合物に関する具体的な安全・健康・環境上の規制・法令

米国規制

米国環境保護庁 有害物質規制 (EPATSC) インベントリー：全成分がTSCAインベントリーに掲載されている。

EPA SARA 302項：この製品はSARA 302項で規制されている化学物質を含まない。

EPA SARA 311項 危険性分類：この製品はSARA 301項で規制されている化学物質を含まない。

EPA SARA 313項：この製品はSARA 313項の下で規制されている化学物質を含まない。

CERCLA 103項：この製品はCERCLAには該当しない。

カリフォルニア州プロポジション 65：この製品に含まれる、がん、生殖毒性または出生異常（発生毒性）を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質：知られていない

16. その他の情報

改訂履歴：ロゴとウェブサイトを改訂した。

CLP/GHS分類とHフレーズ（参照：「3. 組成、成分情報」）：なし

全国防火協会 (NFPA) 評価： 健康：1 火災：1 不安定性：0

危険有害性物質識別システム (HMIS) 等 健康：1 火災：1 物理的危険性：0
級：

この安全性データシートは、EUにおけるREACH規則と「化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)」に準拠して作成されている。また、カナダ管理製品規則と米国29CFR1910.1200の要件にも準拠している。我々の知見において、ここに記載した情報は正確である。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、商品性やその他のいかなる保証もせず、記述の有無に関わらず、我々はその使用に起因する一切の責任を負わない。いかなる場合においても、ライカバイオシステムズは、第三者のいかなる請求、損失、または損害に責任を負わず、また、逸失利益や、この情報に従った使用・依存から生じた特別、間接的、偶発的、結果的または懲罰的損害賠償のために責任を負うものではない。

保管温度： 室温

適用法令

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法： 該当しない

PRTR法： 該当しない

消防法： 該当しない